

下諏訪町未来を創る総合戦略 効果検証結果

I. 下諏訪町 未来を創る総合戦略 効果検証結果の概要	・・・・・・・・	1
II. 基本目標1 【雇用】		
「地域の個性を活かし、誰もが安心して働ける環境を創出することによって、就労機会の増加をめざす」の数値目標およびK P Iの実績値・達成状況	・・・・・・・・	5
III. 基本目標2 【ひとの流れ】		
「町の資源や価値などの魅力を創造し、多様な人材が交流しながら、下諏訪町への新たなひとの流れをつくる」の数値目標およびK P Iの実績値・達成状況	・・・・・・・・	8
IV. 基本目標3 【結婚・出産・子育て】		
「ひととひととのつながりと絆を大切に、ゆとりある子育てができるまちをつくることによって、結婚・出産・子育ての希望がかなうまちをめざす」の数値目標およびK P Iの実績値・達成状況	・・・・・・・・	10
V. 基本目標4 【活性化】		
「住民が安全・安心に暮らし、まちの宝を活かすことによって魅力を育み、ひとが集うまちをつくる」の数値目標およびK P Iの実績値・達成状況	・・・・・・・・	15

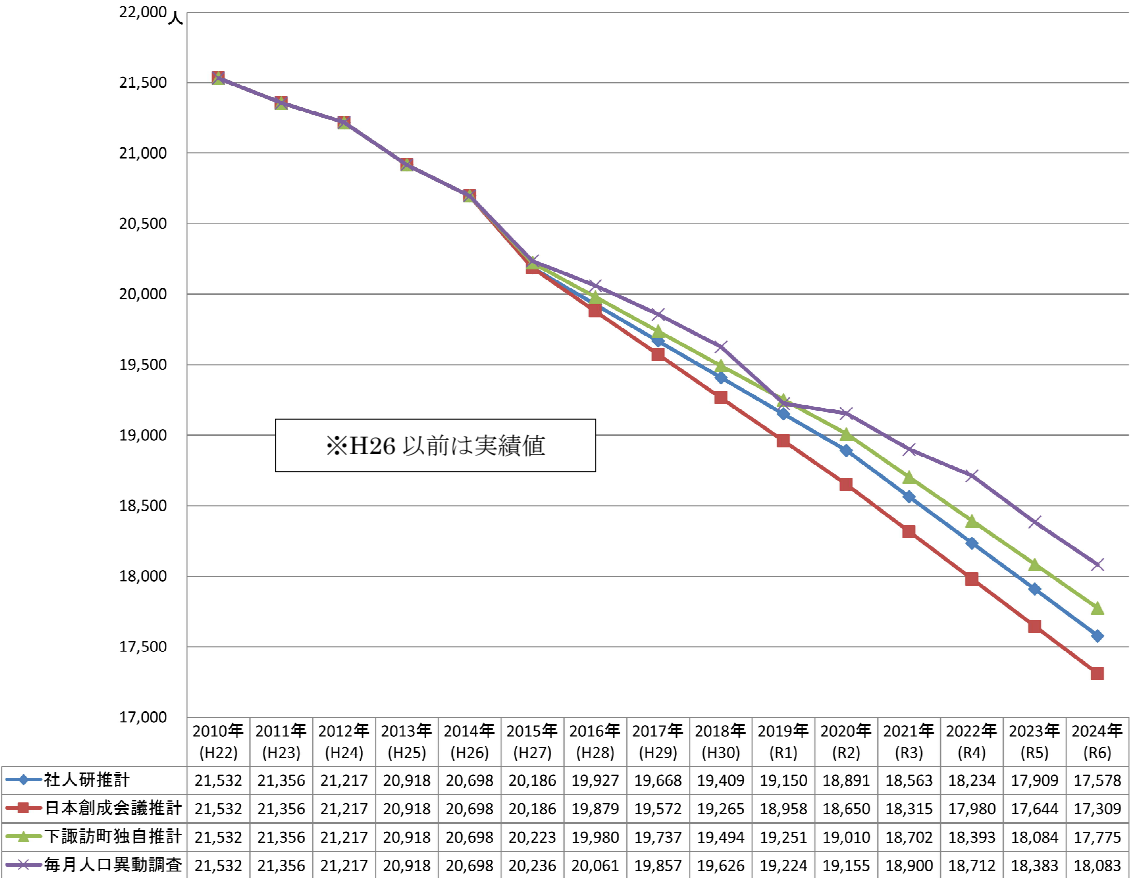
I. 下諏訪町 未来を創る総合戦略 効果検証結果の概要

I-1. 下諏訪町の人口

令和6年長野県毎月人口異動調査において、下諏訪町の人口は18,083人（令和6年10月1日現在）となりました。人口が18,383人であった令和5年から300人の減少、「下諏訪町人口ビジョン」における目標人口である下諏訪町独自推計における令和6年の目標値17,775人を308人上回りました。

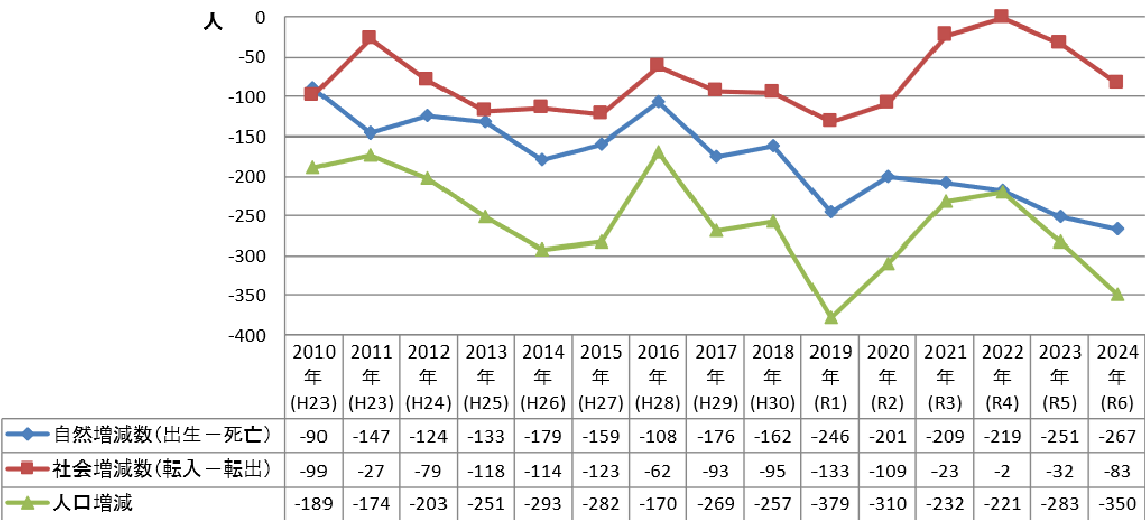
人口増減数については、令和6年において、年間の自然増減数（出生－死亡）が△267人、社会増減数（転入－転出）が△83人、合計△350人となりました。自然増減と社会増減ともにマイナスが続いており、人口減少に歯止めがかからない状況です。

下諏訪町の人口推移及び人口推計



（資料）長野県「毎月人口異動調査」（基準日：各年10月1日）

下諏訪町の人口異動推移



（資料）長野県「毎月人口異動調査」

I-2. 重要業績評価指数（KPI）の効果検証

総合戦略の4つの基本目標において、具体的な施策を実施するにあたって56項目の重要業績評価指標（KPI）を設定しています。令和6年度の目標にむけた進捗状況について、「目標値以上」、「順調」、「努力が必要」の3段階で判断し、総合的に評価しました。評価方法については、以下の通りです。

【評価方法について】

以下に基づいて、令和6年度事業の達成度を判断いたしました。

$$\text{算 定 式} : \{(\text{実績値(R6年度)}) - (\text{基準値(R元年度)})\} \div \{(\text{目標値(R7年度)}) - (\text{基準値(R元年度)})\}$$

（例）町内の新規採用者数

$$68 \text{ 人（実績値）} - 63 \text{ 人（基準値）} \div 70 \text{ 人（目標値）} - 63 \text{ 人（基準値）} = 71.4\% \text{（達成率）}$$

判 断 基 準：達成率が目標値以上…「目標値以上」

達成率が80%以上100%未満…「順調」

達成率が80%未満…「努力が必要」

総合的な評価：達成率が80%以下でも「目標値と実績値の乖離が小さい」、「計画に基づいて推進されている」場合には「順調」と判断（例：下水道管路の耐震化率 等）

基本目標	具体的な施策展開	指標名	基準値 (R元年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	達成率 (R6年度)	達成度	前年度 達成度	前年 比較
1	チャレンジャーの支援	チャレンジ起業支援件数	2.8件	5件	5件	100%以上	目標値以上	努力が必要	↗
	誰もが働きやすい町をめざす	町内の新規採用者数	63人	68人	70人	71.4%	努力が必要	努力が必要	→
	働く場を守る	町民菜園稼働率	93%	93.6%	95%	30.0%	努力が必要	目標値以上	↘
		野生鳥獣の個体数調整 (有害鳥獣の駆除数)	156頭	103頭	335頭	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		森林整備施行面積	30ha	15.8ha	30ha以上	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		ワカサギ受精卵放流量	7.7億粒	0.5億粒	8億粒	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		店舗、工場、農地の低未利用地の紹介件数	7.6件	8件	8件	100%以上	目標値以上	努力が必要	↗
	新しい市場を作る	ものづくり支援センター 受発注支援金額	2億7,701万円	6億2,220万円	3億円	100%以上	目標値以上	目標値以上	→
2	移住準備軍に対するきめ細やかな支援 (移住・定住)	町での移住相談件数	131件	141件	140件	100%以上	目標値以上	努力が必要	↗
	目的意識を持って訪れる人にとって魅力的な環境の創造	社会動態（転入及び転出）による異動人口	▲101.2人	▲83人	▲90人	100%以上	目標値以上	目標値以上	→
		下諏訪観光協会 ホームページアクセス数	303,470PV	748,383PV	420,000PV	100%以上	目標値以上	目標値以上	→
	町の魅力を活かした過ごし方のできることの発信	観光消費額（1人あたりの消費単価）	2,343円	3,037円	3,000円	100%以上	目標値以上	努力が必要	↗
3	若い人が集まりやすい場や催しのコーディネート	婚姻人数	94人	64人	80人以上	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		町主催の出会い・婚活イベントのカップル成立率	31.4%	22.2%	40.0%	基準値以下	努力が必要	順調	↘
	安心して出産するための身近な支援の充実	自然動態（出生及び死亡）による人口増減	▲170.2人	▲267人	▲150人	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		妊婦一般健康診査受診票使用率	91.4%	88.6%	100%	基準値以下	努力が必要	順調	↘
	ゆとりある子育てのための家庭支援と環境整備の推進	保育所持機児童数	0人	0人	0人を継続	100%以上	目標値以上	目標値以上	→
		母子父子寡婦家庭への福祉資金貸付 や技術取得支援機関の紹介	2日間	2日間	2日間以上	100%以上	目標値以上	目標値以上	→
	子どもと子育て世代への地域をあげた応援と見守りの推進	子育てふれあいセンター利用者数	10,783人	9,599人	19,000人	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→

基本 目標	具体的な施策展開	指標名	基準値 (R元年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	達成率 (R6年度)	達成度	前年度 達成度	前年 比較
3	地域の文化や自然などの 教育資源を活かした教育 による地域愛の醸成	学校満足度	小学校:86.5% 中学校:89.4%	小学校:86.0% 中学校:93.2%	小学校:90% 中学校:90%	小学校:基準値以下 中学校:100%以上	順調	順調	→
		図書館の図書貸出冊数	243,413冊	190,127冊	244,600冊	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		文化センター利用者数	44,285人	29,432人	48,800人	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		原爆展・平和企画展等開催日数	10日	16日	14日	100%以上	目標値以上	目標値以上	→
		南知多町との小学生交流事業 満足度	100%	100.0%	100%を維持	100%以上	目標値以上	努力が必要	↗
	生涯にわたる心身の健康 の土台づくり	体力合計点	51.5点	50.02点	54点	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
4	積極的な情報、魅力発信	ふるさと納税者数	209人	461人	200人以上	100%以上	目標値以上	目標値以上	→
		国際交流講演会参加者数	150人	94人	200人	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		メール・SNSによる情報発信件数	1,178件	1,377件	1,500件	61.8%	努力が必要	努力が必要	→
	老若男女・地域を問わず 集える地域コミュニティの 形成	職員出前講座開催回数	28回	41回	30回	100%以上	目標値以上	努力が必要	↗
		伏見屋邸入館者数	9,873人	8,095人	15,000人	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		下諏訪町高齢者クラブ補助金 利用団体数	16団体	19団体	30団体	21.4%	努力が必要	努力が必要	→
	行政と住民が協働し、 得意な分野を活かした まちづくりの推進	地域の活力創生チャレンジ事業 支援件数	6.4件	5件	10件	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		各種委員会・審議会等における 女性委員の割合	30.2%	28.6%	40%	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
	空き家対策の推進による 地域活性化	空き家情報バンクによる成約件数	10.2件	23件	10件以上	100%以上	目標値以上	目標値以上	→
	安心して快適に暮らす ための事業推進	諏訪広域連合が処理する事務の数	15項目	14項目	15項目以上	基準値以下	努力が必要	目標値以上	↘
		グリーン購入法適合公用車割合	30.1%	41.3%	42.3%	91.8%	順調	順調	→
		人権教育研修会参加者数	66人	65人	70人	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		地域活動支援センター利用者数	14人	9人	15人	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		生活困窮者の相談のうち専門機関と の連携対応の割合	57.7%	100.0%	60%	100%以上	目標値以上	目標値以上	→
		街なみ環境整備事業による 小公園整備箇所数	3箇所	4箇所	5箇所	50.0%	順調	順調	→
		防災士在住地区数	66地区	65地区	80地区	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		水防訓練参加者数	224人	216人	220人以上	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		特殊詐欺等防止機器購入補助金 利用件数	0件	67件	150件	44.7%	努力が必要	努力が必要	→
		町内交通事故件数	65件	36件	55件以下	100%以上	目標値以上	目標値以上	→
		消防団員数	231人	208人	230人以上	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		上水道管路の耐震化率	14.6%	16.9%	16.8%	100%以上	目標値以上	順調	↗
		下水道管路の耐震化率	21.9%	※20.4%	33.8%	計画通り	順調	順調	→
		都市計画道路の整備率	53.8%	74.6%	58%	100%以上	目標値以上	目標値以上	→
		赤砂崎公園多目的グラウンド利用者 数	5,800人	3,470人	5,800人以上	基準値以下	目標値以上	努力が必要	↗
		町内循環バスあざみ号利用者数	42,816人	43,375人	49,000人	9.0%	努力が必要	努力が必要	→
		家庭から出る燃やすごみの量 (1日1人あたりの排出量)	474.7g	459.1g	460.5g以下	100%以上	目標値以上	順調	↗
		移動販売利用者数	5,611人	3,714人	6,000人	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
	健康長寿のまちづくり	平均自立期間	男性:81.0歳 女性:86.2歳	男性:81.0歳 女性:86.6歳	男性:81.0歳以上 女性:86.2歳以上	100%以上	目標値以上	努力が必要	↗
		健康スポーツゾーンを活用した講座 開催回数及び参加者数	12回 145.2人	12回 91人	12回 160人	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		国保特定健康診査受診率	44.2%	43.0%	60.0%	基準値以下	努力が必要	努力が必要	→
		認知症サポーター養成講座受講者数 (講座開設以降の累積受講者数)	2,624人	3,147人	3,000人	100%以上	目標値以上	目標値以上	→

※計画に基づいて推進しておりますが、対象管路の総延長を見直した（分母の増加）ため、実績値が基準値を下回っています。詳しくは事業の詳細をご覧ください。

56 項目の重要業績評価指標 (KPI) について、「目標値以上」は 22 項目 (39.3%)、「順調」は 4 項目 (7.1%)、「努力が必要」は 30 項目 (53.6%) となり、「順調」以上が 26 項目 (46.4%) となりました。

基本目標	目標値以上	順調	努力が必要	実績値なし	計
◆基本目標1【雇用】 地域の個性を活かし、誰もが安心して働ける環境を創出することによって、就労機会の増加をめざす	3 (2) 37.5%	0 (0) 0.0%	5 (6) 62.5%	0 (0) 0.0%	8 100.0%
◆基本目標2【ひとの流れ】 町の資源や価値などの魅力を創造し、多様な人材が交流しながら、下諏訪町への新たなひとの流れをつくる	4 (2) 100.0%	0 (0) 0.0%	0 (2) 0.0%	0 (0) 0.0%	4 100.0%
◆基本目標3【結婚・出産・子育て】 ひととひととのつながりと絆を大切に、ゆとりある子育てができるまちをつくることによって、結婚・出産・子育ての希望がかなうまちをめざす	4 (3) 30.8%	1 (3) 7.7%	8 (7) 61.5%	0 (0) 0.0%	13 100.0%
◆基本目標4【活性化】 住民が安全・安心に暮らし、まちの宝を活かすことによって魅力を育み、ひとが集うまちをつくる	11 (7) 35.5%	3 (5) 9.7%	17 (19) 54.8%	0 (0) 0.0%	31 100.0%
計	22 (14) 39.3%	4 (8) 7.1%	30 (34) 53.6%	0 (0) 0.0%	56 100.0%

※かっこ内は令和5年度実績

Ⅱ. 基本目標 1 【雇用】

「地域の個性を活かし、誰もが安心して働ける環境を創出するによって、就労機会の増加をめざす」の数値目標およびK P I の実績値・達成状況

◇施策（１）チャレンジャーの支援

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
チャレンジ起業支援件数 (商工係) 【チャレンジ起業支援事業補助金】 町内に居住している方が、既存の空き店舗等を活用して初めて商業活動を行う場合、店舗改装や改修に係る経費の一部を補助する	実績値	2.8件	4件	2件	2件	5件		5件
	達成度		順調	努力が必要	努力が必要	目標値以上		
	KPI達成に向けた主な取組	・起業創業事業者に向けた情報発信 ・商工会議所と連携した各種取り組みへの支援 ・住民同士のネットワークを通じた情報発信 ・移住相談受付時の情報発信						
	実施状況	・ホームページや広報誌等による情報発信 ・商工会議所が実施している創業スクールや、経営指導員による開業支援窓口等の紹介						
	効果・成果結果の分析	・チャレンジ起業支援事業 件数：5件 補助額：3,480,332円 （制度融資あっせん創業関連資金等 件数：3件）						
	今後の取組	・創業スクール受講者における起業創業希望者への支援 ・町及び県の制度融資における創業関連資金あっせん等の支援 ・住民同士のネットワークを通じた情報発信 ・移住相談受付時の情報発信						
	備考	・個々の起業創業に合わせ「チャレンジ起業支援事業」だけでなく、創業スクールや、制度融資あっせん創業関連資金等による幅広い支援を実施している						

◇施策（２）誰もが働きやすい町をめざす

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
町内の新規採用者人数 (商工係)	実績値	63人	55人	58人	41人	68人		70人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた主な取組	・就職説明会への参加 ・諏訪地域就職企業ガイドの作成 ・県内・県外大学及び企業への働きかけ、意見交換、状況把握						
	実施状況	・就職希望者と企業の接点創出 ・就職説明会への参加						
	効果・成果結果の分析	・就職説明会への参加回数 5回						
	今後の取組	・就職説明会等による企業と就職希望者のマッチング ・県内・県外大学との就職動向や学生要望などの情報交換 ・UIJターン就業・創業移住支援事業補助金及び奨学金返還支援補助金の新設 ・移住ポータルサイトと連携した仕事情報の発信						
	備考							

◇施策（３）働く場を守る

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
町民菜園稼働率 (農林係)	実績値	93%	96%	96%	96%	93.6%		95%
	達成度		目標値以上	目標値以上	目標値以上	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・町民菜園利用促進のための啓発活動 ・安心して耕作してもらうために獣害対策の実施 ・利用者から相談があった場合の営農指導						
	実施状況	・町民菜園利用についてホームページ、しもすわインフォに掲載 ・猟友会による有害鳥獣駆除の実施、防護柵設置の推奨 ・利用者から相談があった場合の営農指導						
	効果・成果 結果の分析	・稼働率の維持につながっている ・遊休農地の減少につながっている ・町民に農業に興味を持ってもらっている機会となっている						
	今後の取組	・利用促進のための啓発活動 ・農地の獣害対策の実施 ・利用者に対する営農指導						
	備考							
野生鳥獣の個体数調整 (農林係)	実績値	156頭	200頭	115頭	138頭	103頭		335頭
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・鳥獣被害対策実施隊設置による鳥獣捕獲の推進 ・狩猟者を増やすためのPR活動及び若手狩猟者の育成 ・近隣市町村と連携した広域捕獲の実施						
	実施状況	・罠、銃器による有害鳥獣駆除の実施 ・イベントにおけるPR活動、狩猟者の育成 ・近隣市町村と連携した広域捕獲の実施						
	効果・成果 結果の分析	・有害鳥獣駆除、広域捕獲の実施により農林業被害の増加防止になっている ・狩猟者の増加、育成活動については、今後の捕獲頭数の増加につながる						
	今後の取組	・鳥獣被害対策実施隊設置による鳥獣捕獲の推進 ・狩猟者を増やすためのPR活動及び若手狩猟者の育成 ・近隣市町村と連携した広域捕獲の実施 ・捕獲したニホンジカ、イノシシを食肉加工施設に搬入した場合は報奨金の上乗せを行う						
	備考							
森林整備施行面積 (農林係)	実績値	30ha	20ha	26ha	18.2ha	15.8ha		30ha以上
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・町有林等の団体有林の計画的な森林整備 ・林業事業体による搬出間伐 ・森林環境譲与税を原資とした整備の遅れている民有林の整備						
	実施状況	・町有林等の団体有林の計画的な森林整備 ・林業事業体による搬出間伐 ・森林環境譲与税を原資とした整備の遅れている民有林の整備						
	効果・成果 結果の分析	・町有林などの団体有林は計画的に整備が進んでおり、健全な森林を維持できている ・個人有林については森林環境譲与税を活用し徐々に整備が進んでいる						
	今後の取組	・町有林等の団体有林の計画的な森林整備 ・林業事業体による搬出間伐 ・森林環境譲与税を原資とした整備の遅れている民有林の整備						
	備考							

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
ワカサギ受精卵放流量 (農林係)	実績値	7.7億粒	2.8億粒	4.4億粒	0.8億粒	0.5億粒		8億粒
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・捕食鳥類の追い払い ・捕食魚類の駆除 ・ワカサギ漁の規制						
	実施状況	・カワアイサ、カワウの追い払い ・ブラックバス、ブルーギルの駆除 ・ワカサギ漁の規制						
	効果・成果 結果の分析	・捕食鳥類の追い払い、捕食魚類の駆除については一定の成果は出ている ・ワカサギ受精卵放流量の減少の原因は、気候変動や湖内の生息環境変化等の影響によるものであり対策については不透明となっている						
	今後の取組	・捕食鳥類の追い払い ・捕食魚類の駆除 ・ワカサギ漁の規制						
	備考							
店舗、工場、農地の低未利用地の紹介件数 (商工係)	実績値	7.6件	13件	8件	2件	8件		8件
	達成度		目標値以上	目標値以上	努力が必要	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・事業者の要望や状況に合わせて、空き店舗や空き工場などの情報提供を実施						
	実施状況	・店舗や工場を活用する事業者に対して、情報提供や補助金活用を提案						
	効果・成果 結果の分析	・チャレンジ起業支援事業 件数：5件 補助額：3,480,332円 ・商工業振興助成事業 件数：3件 補助額：12,618,000円						
	今後の取組	・町内事業者や支援団体等と連携し、空き店舗・空き工場等の情報把握と情報提供を実施 ・各種補助メニューや活用できる制度の提案						
	備考	KPI指標として使用していた「空き店舗活性化事業補助金」は令和4年度で終了したため、R5年度から「チャレンジ起業支援事業補助金」の交付件数を代替の指標とした。						

◇施策（４）新しい市場を作る

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
ものづくり支援センター受発注支援金額 (商工係)	実績値	2億7,701万円	6億8,255万円	5億8,773万円	5億8,957万円	6億2,220万円		3億円
	達成度		目標値以上	目標値以上	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・ものづくり支援センターを介した新規や既存案件の受発注・顧客獲得支援						
	実施状況	①支援センターへの問合せ案件 ②長野県産業振興機構を通じた案件 ③展示会・商談会への出展案件 ④支援センターの補助金を活用した製品開発案件 ⑤既存案件						
	効果・成果 結果の分析	①1,041万円／26件 ②598万円／10件 ③764万円／26件 ④80万円／3件 ⑤5億9,737万円／464件						
	今後の取組	・ものづくり支援センターの受発注支援事業は増加傾向となっているが、町全体として中小製造業者はエネルギー価格・原材料費の高騰や円安の影響を受けている事業者が多いため、今後も関連機関との連携やDX化の推進を通して新規受発注拡大の取り組みを行う						
	備考	・昨年度比で微増となり、目標を上回る実績となった。昨年度に続き、エネルギー価格の高騰や、記録的な円安等の影響で、海外からの部品や原材料を使用している町内企業は厳しい状況下であったが、車載関連部品、生産設備周辺部品の受注に支えられた。						

Ⅲ. 基本目標 2【ひとの流れ】

「町の資源や価値などの魅力を創造し、多様な人材が交流しながら、下諏訪町への新たなひとの流れをつくる」の数値目標およびK P Iの実績値・達成状況

◇施策（１）移住予備軍に対するきめ細やかな支援（移住・定住）

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
町での移住相談件数 (移住定住促進室)	実績値	131件	114件	123件	125件	141件		140件
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・役場窓口による相談受付、セミナーや移住イベント等での相談受付 ・移住交流拠点「ミーミーセンタースメバ」の運営						
	実施状況	・役場窓口やミーミーセンタースメバ等で移住検討者の相談に対応 ・イベントやSNSの発信により町の周知及び魅力を発信 ・岡谷市、諏訪市と「諏訪湖移住プロジェクト」として移住セミナーに参加						
	効果・成果 結果の分析	・役場窓口・電話及びミーミーセンタースメバでの相談件数 89件 ・移住定住促進住宅取得事業補助金 18件 ・空き家等家財道具処分補助金 10件 空き家等仲介補助金 22件 ・UIターン就業・創業移住支援事業補助金2件						
	今後の取組	・セミナー参加に加え、イベント開催等による新たな移住予備軍の発掘 ・地域おこし協力隊によるミーミーセンタースメバでの移住相談受付の推進 ・下諏訪暮らしを体験してもらうしもすわ移住ウィークの開催 ・移住ポータルサイト「くぐると下諏訪」による積極的な情報発信						
	備考							

◇施策（２）目的意識を持って訪れる人にとって魅力的な環境の創造

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
社会動態（転入及び転出）による異動人口 （企画係・移住定住促進室）	実績値	▲101.2人	▲23人	▲2人	▲32人	▲83人		▲90人
	達成度		目標値以上	目標値以上	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・地域おこし協力隊による移住相談の受付・案内 ・新設した移住ポータルサイトによる空き家、補助金等の情報の一括配信 ・移住定住に関する各種補助金の案内・運用						
	実施状況	・ミーミーセンタースメバ・ふるさと回帰フェア等での移住相談 ・移住定住促進住宅取得補助金、空き家等片付け補助金、空き家等仲介補助金等による空き家流通促進						
	効果・成果 結果の分析	・令和6年度地域おこし協力隊（移住部門）人数 3人 ・社会動態による人口の社会動態による減少数は、令和5年では▲32人であったが、令和6年では▲83人となり、都市部への人口流入が顕著となっている一方、住民票を移さずに当町で活動している二地域居住者は増加傾向にあると把握している。						
	今後の取組	・移住者の受け皿である空き家の流通を促進させるため、町内全10区の区長と面談し、地域特性に応じた空き家対策や移住相談の体制を整える。						
	備考	R元年 R2年 R3年 R4年 R5年 R6年 転入 661 608 571 626 590 536 転出 794 717 594 628 622 619 合計 ▲133 ▲109 ▲23 ▲2 ▲32 ▲83						

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
下諏訪観光協会ホームページアクセス数 (観光係)	実績値	303,470PV	578,999PV	664,827PV	604,844PV	748,383PV		420,000PV
	達成度		目標値以上	目標値以上	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・観光イベントや観光体験プログラム（観光ツアー）の開催等に合わせて、 ホームページ及びSNSで、来訪者に向けた定期的な情報発信を実施。						
	実施状況	・下諏訪に来訪してもらうため、地域の観光素材と組み合わせた商品を充実させること で、この地域をより深く知ってもらえる旅行商品づくりを実施 ・持続可能な観光地域づくりを目的とした観光振興計画の推進 ・下諏訪町内の各種イベントがわかりやすいよう、イベントページを活用						
	効果・成果 結果の分析	・三角八丁等のイベント情報の定期的な発信による露出・PR機会の増加 ・新聞・WEB広告等の各種メディアと連動した情報発信を行い、 ホームページからの観光体験プログラム等予約が増加した (24PG、404人、事業収入2,110万円)						
	今後の取組	・ホームページ情報の充実を図り、新規記事追加及び既存記事の見直しを継続する ・観光振興計画による持続可能な観光地域づくりに向けた住民参画及び周知 ・観光振興局の観光体験プログラムの拡充						
	備考							

◇施策（３）まちの魅力を活かした過ごし方のできることの発信

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
観光消費額（１人あたりの消費単価） (観光係)	実績値	2,343円	2,364円	2,744円	2,806円	3,037円		3,000円
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・新たな観光振興を展開するための観光振興計画の策定 ・観光体験プログラムの造成・販売を通して、地域の宿泊施設、飲食店等の協力 による来訪者の満足度向上による地域活性化を実施						
	実施状況	・第3次下諏訪町観光振興計画の実践 ・宿泊施設、観光施設、飲食店等に観光体験プログラムへの協力、連携を促し、 地域の観光資源を活用した特別な旅行商品の造成及び実施						
	効果・成果 結果の分析	・旅行商品参加者：404人 事業収益：2,110万円 ・おんばしら館よいさ 入館者数：13,793人 入館料等収入：7,723,520円 ・しもすわ今昔館おいでや 入館者数：7,525人 入館料等収入：19,336,854円 ・ビジターセンターあざみ館 入館者数：24,836人 物品販売等収入：1,625,770円						
	今後の取組	・持続可能な観光地域づくりを意識した観光によるまちづくり及び高付加価値な 旅の提案を行う ・地域事業者等と受入環境の整備、歴史文化及び環境に配慮した取り組みの実施						
	備考							

IV. 基本目標 3 【結婚・出産・子育て】

「ひととひととのつながりと絆を大切に、ゆとりある子育てができるまちをつくることによって、結婚・出産・子育ての希望がかなうまちをめざす」の数値目標およびKPIの実績値・達成状況

◇施策（１）若い人が集まりやすい場や催しのコーディネート

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
婚姻人数 (総合窓口係・移住定住促進室)	実績値	94人	81人	65人	63人	64人		80人以上
	達成度		目標値以上	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・結婚新生活支援事業補助金の実施 ・結婚新生活支援施設の運営・管理						
	実施状況	・結婚新生活支援事業補助金 件数：3件 補助額：1,209,000円 ・結婚新生活支援施設の入居者数：4組8名（令和7年3月31日現在）						
	効果・成果 結果の分析	・新たに婚姻した世帯に対して、住居費及び引越費用の一部補助や、結婚新生活支援住宅サービスの提供など、婚姻に伴う新生活を経済的に支援することにより、少子化対策の強化が期待できる						
	今後の取組	・補助金や支援制度についての継続的な周知 ・結婚新生活施設から退去後の町内への定住の仕組みづくり						
	備考							
町主催の出会い・婚活イベントの カップル成立率 (企画係)	実績値	31.4%	実績値なし	実績値なし	60%	22.2%		40%
	達成度		実績値なし	実績値なし	順調	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	結婚願望があるにもかかわらず、出会いの機会に恵まれない人たちに出会いの場を提供するため、下諏訪町出会い・婚活プロジェクトによる婚活イベント等を行う。						
	実施状況	・令和6年度町単独による婚活イベント 実施回数：2回（中止1回）延べ参加者数：41名（応募者：男性88名・女性12名）						
	効果・成果 結果の分析	・町単独イベント内におけるマッチング成立数：4組 （マッチングを行ったイベントにおける成立率22.2%） ・令和6年度町単独イベント参加者における成婚報告数：0組（5年度0組）						
	今後の取組	・町単独イベントの継続的な実施（年度3回実施予定） ・トークタイム中の休憩時間を増やし、相手の印象の整理をする時間、自由に会話できる時間を設けるほか、年齢層を限定し、女性の参加者を増やす。						
	備考	・開催出来たイベントでは、町内カフェに出張開店してもらい、淹れたてコーヒーを提供したところ、参加者はリラックスしてトークタイムに臨め、会話が弾んでいた。一方で、マッチング希望が一部の参加者に集中してしまい、マッチング数が少なくなった。						

◇施策（２）安心して出産するための身近な支援の充実

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
自然動態（出生及び死亡）による人口増減 （企画係・保健予防係）	実績値	▲170.2人	▲209人	▲219人	▲251人	▲267人		▲150人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・保健センターにおいて、保健師等の専門職により、以下の妊娠期からの切れ目ない支援を行う ①保健師による妊娠届時の面接と継続した産後の支援 ②産前産後サポート事業 ③産後ケア事業 ④公費による妊産婦健診 ⑤不妊治療助成事業等						
	実施状況	・地区担当保健師との面接による妊婦自身や育児環境の状況把握に基づく育児支援、母子保健事業の情報提供 ・妊娠届の際に受診票を交付 ・助産師による個別相談、産科医療機関・助産院にて通所及び宿泊のケア						
	効果・成果 結果の分析	・妊娠期から対面にて状況把握や情報提供を行うことにより、産後・子育て期の継続した支援につなげることができるほか、育児不安や困難を抱える母子について、早期対応につながるよう関係機関と共有することができる						
	今後の取組	・母子保健と子育て支援の連携による、妊娠期からの切れ目ない支援を継続する						
	備考	R元年 R2年 R3年 R4年 R5年 R6年 出生 93 87 108 93 85 68 死亡 339 288 317 312 336 335 合計 ▲246 ▲201 ▲209 ▲219 ▲251 ▲267						
妊婦一般健康診査受診票使用率 （保健予防係）	実績値	91.4%	90.9%	95.7%	93.9%	88.60%		100%
	達成度		努力が必要	順調	順調	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・全妊婦に対し妊婦一般健康診査の公費負担による出産までの経済的負担の軽減 ・妊婦に対する適切な健康管理の実施						
	実施状況	・年度内に妊娠届が提出された妊婦68名に妊婦一般健康診査受診票を交付、町内への転入者へも同様に受診票を交付						
	効果・成果 結果の分析	・昨年度と比べ使用率は低下したが、健診が必要な妊婦は使用することができていることから妊婦の経済的負担軽減や健康管理につながっていると考えられる						
	今後の取組	・受診票交付の継続実施 ・適切に使用できるよう、妊娠届出時に使用目的・方法の説明徹底						
	備考							

◇施策（３）ゆとりある子育てのための家庭支援と環境整備の推進

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
保育所待機児童数 (保育係)	実績値	0人	0人	0人	0人	0人		0人を継続
	達成度		目標値以上	目標値以上	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・3歳未満児の入園調整						
	実施状況	・希望園以外の保育園への案内 ・3歳未満児クラス保育士の適正配置						
	効果・成果 結果の分析	・令和6年度当初は待機児童7人であったが、9月までにすべて解消された ・令和6年度3歳未満児受入人数総計：97人						
	今後の取組	・令和7年度当初は待機児童が発生している（1人）ため、年度内の受け入れができるよう保育体制を整備する ・保育士不足により受け入れ拡充が難しい状況があるため、保育士確保に尽力する						
	備考							

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
母子父子寡婦家庭への福祉資金貸付や技術 取得支援機関の紹介（説明会の開催日数） （こども家庭相談係）	実績値	2日間	2日間	2日間	2日間	2日間		2日間以上
	達成度		目標値以上	目標値以上	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・制度理解を深めてもらうための親切丁寧な対応と説明 ・利用対象となる方に確実に情報提供できる機会として児童扶養手当現況届の面談を活用						
	実施状況	・児童扶養手当における年1回の現況確認の際に、個別に状況を聞き取りながら、必要な支援や制度紹介の実施 ・現況届の集中受付日に、県母子父子自立支援員の個別相談を実施						
	効果・成果 結果の分析	・支援が必要な家庭（ひとり親家庭等）の現況を、毎年聞き取りながら、制度紹介を行うことで、お互いに情報が更新され、その時々合った支援が行えている						
	今後の取組	・県母子父子自立支援員と連携し、支援機関や制度の紹介、手続き等の個別相談を行う						
	備考							

◇施策（４）子どもと子育て世代への地域をあげた応援と見守りの推進

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
子育てふれあいセンター利用者数 （こども家庭相談係）	実績値	10,783人	9,724人	6,589人	10,149人	9,599人		19,000人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・ランチルーム利用の再開 ・子育て相談対応 ・感染予防対策に配慮した運営 ・だっこの会役員会、高齢者のサークル活動等に対する無料貸室						
	実施状況	・乳幼児を持つ保護者対象の講座、ボランティアとのふれあい講座の実施 ・土曜開館日に家族で利用、相談等の実施 ・子育て支援室、談話室の無料貸室の実施 ・ファミリーサポート事業の実施						
	効果・成果 結果の分析	・昨年度より利用者数が減少した。10月～12月まで、道路工事による通行止めや駐車場が使用不可になったことが影響していると考えられる。 ・町外からの新規利用、ロコミやリピーターも多い						
	今後の取組	・利用者ニーズに沿った運営を行う。						
	備考	目標値は、線路下の施設運用を仮定して設定しているため達成度は低くなっている。						

◇施策（５）地域の文化や自然などの教育資源を活かした教育による地域愛の醸成

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
学校満足度 (教育総務係) 長野県「学校経営概要」調査において、「学校へ行くのが楽しい、概ね楽しい」と答えた割合	実績値	小学校:86.5% 中学校:89.4%	小学校:88.2% 中学校:92.9%	小学校:92.3% 中学校:88.6%	小学校:85.2% 中学校:88.6%	小学校:86.0% 中学校:93.2%		小学校:90% 中学校:90%
	達成度		順調	順調	順調	順調		
	KPI達成に向けた主な取組	・教育の情報化の推進（学校ICT教育環境の整備、教職員の業務効率化） ・施設の環境整備の充実 ・小中学校間の情報交換を行い、授業、生活指導の改善、地域を担う人材を育成						
	実施状況	・ICT端末を活用した授業の実施 ・教職員へのICT端末操作研修の実施、校務支援システムの導入 ・AIドリルの導入 ・南小学校の体育館棟のLED化						
	効果・成果結果の分析	・教職員の校務効率化により、児童生徒と向き合う時間の創出に繋がっている ・校内の照明をLED化することにより、明るい照明のもと各種授業を受けることが出来る						
	今後の取組	・ICT端末を最大限に活用した個別最適化した学習への取組 ・継続的な教育施設の環境整備 ・児童生徒の個性や特性を把握した学習支援						
	備考							
図書館の図書貸出冊数 (図書館)	実績値	243,413冊	204,993冊	223,288冊	203,090冊	190,127冊		244,600冊
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた主な取組	・年間を通して様々な図書館行事や館内展示を行い、来館者の増加を図る。 ・季節や旬な話題を取り上げた関連本のコーナーの作成、メール配信や各種メディアを通して、新刊やおすすめ本の紹介を行う。 ・市町村と県による協働電子図書館事業「デジとしょ信州」の利用促進。						
	実施状況	・図書館おすすめ本リスト作成（配布用150冊作成、毎年4月発行） ・定例行事 おはなしのへや／えいごのお庭／セカンドブックのつどい 小中学校読み聞かせ／出前講座／小学校の図書館見学等 合計：136回（R5 130回） ・年間行事 のりものおはなし会／こわ〜いおはなし会／Jazz／防災グッズ工作会 古本市／映画会／デジとしょ信州活用講座／一日図書館司書体験 合計：21回（R5 22回）						
	効果・成果結果の分析	・コロナ禍を終えて、図書館の行事の開催も安定して行えていることから、ここ数年の図書館利用者数は順調に回復している。 ・また、一般の資料の貸出数はゆるやかな減少方向となっているが、視覚障がい者に対応した録音図書の貸出数や、学生の学習する場所としての利用等は増加している。						
	今後の取組	・情報提供の場として、様々な形で効果的に資料を展示することで貸出冊数の増加を図っていく。 ・「デジとしょ信州」の一般利用者への周知、及び小中学校での授業利用への促進。						
	備考	【6市町村での相互貸借数…当館該当分】 貸出：R6 18,173冊／R5 15,028冊 借用：R6 16,963冊／R5 16,614冊 【デジとしょ信州…R4.8月運用開始】 登録：R6 15人／R5 25人 貸出：R6 415冊／R5 609冊						
文化センター利用者数 (生涯学習係)	実績値	44,285人	27,120人	29,955人	31,671人	29,432人		48,800人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた主な取組	・社会教育関係団体の活動活性化への支援及び継続学習に向けた自主グループの奨励と育成（サークル自主講座の実施） ・多様な「学び」の機会の創出及び学習成果発表の場の提供による「学び」を介した居場所づくり ・利便性向上と事業企画の補完を図るため「文化センター企画運営協議会」を設置						
	実施状況	・年度末現在における社会教育関係団体数：57団体 ・社会教育関係団体（サークル）による講座企画数：5講座（延べ96人参加） ・実施講座数：87講座 延べ2,767人参加 ・「文化センター企画運営協議会」委員数10名 会議数5回						
	効果・成果結果の分析	・年度末現在における社会教育関係団体の対前年度比増減：4団体の減 ・年度中に立ち上げられた新規の社会教育関係団体数：2団体						
	今後の取組	・社会教育関係団体に対し、サークル自主講座の活用や活動を支援することで、新規メンバー獲得及び活動の活性化を図る ・多種多様な「学び」の機会の提供と「学び」のグループの奨励 ・利用者の安全と運営者の安心のための改修の実施						
	備考	・大ホール周辺の大規模改修を実施（大ホールの利用休止） ・ホール人材の育成（委託先の舞台技術スタッフと連携、協働して自主事業を企画し、実施できる人材）						

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
原爆展・平和企画展等開催日数 (企画係)	実績値	10日	11日	15日	15日	16日		14日
	達成度		努力が必要	目標値以上	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	広島・長崎原爆の日や終戦記念日に合わせ、教育こども課生涯学習係と共催で戦争の実相や原爆の悲惨さ、平和の尊さを感じてもらおう展示を実施						
	実施状況	広島平和記念資料館からパネルとDVDを借用し、原爆被害の実相と平和の尊さについて考える展示を実施						
	効果・成果 結果の分析	令和6年度開催概要 会場：下諏訪総合文化センター 日程：令和6年8月5日（月）～令和6年8月20日（火）の計16日						
	今後の取組	図書館所蔵の戦争及び平和関連書籍の展示やデジタルアルバムを活用した下諏訪町における戦争の実相についての展示など、展示の多様化の研究						
	備考							
南知多町との小学生交流事業満足度 (企画係)	実績値	100%	実績値なし	実績値なし	97.3%	100%		100%を維持
	達成度		実績値なし	実績値なし	努力が必要	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	交流事業の内容充実による参加者の満足度向上						
	実施状況	南知多町にて、海水浴やアクティビティ、バーベキューを実施						
	効果・成果 結果の分析	姉妹都市交流を通じて、自治体間及び町民間の親交を深めるとともに、南知多町の風土に触れることでお互いの町の魅力に気づき、下諏訪町への愛着を醸成することができた。						
	今後の取組	事業の安心・安全な運営や両町の児童が魅力的だと感じられるイベントなどの企画立案を引き続き研究していく。						
	備考	交流事業の経過 H31 南知多町にて開催 R2～4 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止 R5～ 対面での交流事業再開（R5下諏訪町開催、R6南知多町開催）						

◇施策（6）生涯にわたる心身の健康の土台づくり

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
体力合計点 (健康スポーツ係)	実績値	51.5点	50.4点	50.3点	48.6点	50.0点		54点
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ環境づくり ・子供から高齢者までライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出 ・運動・スポーツの習慣化						
	実施状況	・誰もが気軽に運動・スポーツができる環境整備（施設・用具等の維持管理） ・スポーツに関するイベントや教室の開催 ・誰でも気軽に楽しめる「ニュースポーツ」等の出前講座の実施 ・地域特性を活かしたスポーツ（ローイング、スケート等）イベント・大会の開催						
	効果・成果 結果の分析	・少子高齢化により、チームスポーツに取り組むことが難しくなっているが、個人、少人数でも実践できる運動・スポーツに関心が高まっている ・学校体育、部活動、地域活動により、様々なスポーツが実践されており、本指標の実績値としている体力合計点については、全国平均を上回っている						
	今後の取組	・ニーズに則したスポーツ環境の整備 ・部活動や地域のスポーツ活動における指導者の確保 ・プロスポーツクラブ等と連携した競技力や体力向上に向けた取り組み						
	備考	・令和6年度 体力合計点 全国平均 48.85 (小学5年生、中学2年生の男女別得点平均)						

V. 基本目標 4 【活性化】

「住民が安全・安心に暮らし、まちの宝を活かすことによって魅力を育み、ひとが集うまちをつくる」の数値目標およびKPIの実績値・達成状況

◇施策（１）積極的な情報、魅力発信

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
ふるさと納税者数 (企画係)	実績値	209人	364人	277人	370人	461人		200人以上
	達成度		目標値以上	目標値以上	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	ふるさと納税サイト等における町の魅力の発信やPRの実施						
	実施状況	・ふるさと納税サイト（ふるさとチョイス、ふるなび、楽天）を通じた町の返礼品や魅力の発信及びPR ・町での宿泊や飲食等のサービスで使えるクーポンを返礼品として受け取れる「現地決済型ふるさと納税」の導入						
	効果・成果 結果の分析	・ふるさと納税者数（総寄附額21,128千円） 県内：61名 県外：400名(41都道府県) うち現地決済型ふるさと納税(9月1日～3月31日) 62名(2,924千円)						
	今後の取組	・ふるさと納税サイトの改善による町の魅力発信及びPRの向上 ・魅力ある新規返礼品の発掘 ・新たな活用分野の検討 ・体験型やクーポン等のふるさと納税を含め新たな取組の検討						
	備考							
国際交流講演会参加者数 (生活相談係)	実績値	150人	実績値なし	80人	50人	94人		200人
	達成度		実績値なし	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・町と各種団体が共催する講演会の実施						
	実施状況	・町と下諏訪国際交流協会との共催事業「国際交流講演会」を実施						
	効果・成果 結果の分析	・講演会参加者数 ①12/8（土）14:00～ 留学・理想と現実 42人 ②3/22（土）14:00～ 極北からの使者コハクチョウ 52人						
	今後の取組	・多文化共生社会の推進に向けて、外国籍の住民が生活しやすい社会の形成を図るとともに、災害などの緊急時に日本語を話せない外国人に対応する事態を想定して、平時から通訳などの体制整備をするなど、日本語を話せない人への対応を引き続き実施する。						
	備考							
メール・SNSによる情報発信件数 (情報防災係)	実績値	1,178件	1,423件	1,441件	1,392件	1,377件		1,500件
	達成度		順調	順調	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・スマートフォン用アプリ「しもすわインフォ」の普及を図る ・くらしの情報、防災情報など確実に情報発信できるよう各システムを管理する						
	実施状況	・メール配信の末尾に「しもすわインフォ」の登録案内を付して配信している ・「しもすわインフォ」によるお知らせは、スマートフォンの特性を活かし、防災行政無線で放送した音声、画像の配置やホームページへのリンクを組み込むなど配信内容を工夫している						
	効果・成果 結果の分析	・メール配信の登録者が「しもすわインフォ」へ移行していることが利用者数の推移から分かる						
	今後の取組	・町のポータルアプリとして「しもすわインフォ」の機能を充実させることで利用促進を図る。						
	備考	・平成29年度 町ホームページとX(旧Twitter)と連携した情報発信システムを導入 ・令和5年度 スマートフォン用アプリ「しもすわインフォ」を導入						

◇施策（２）老若男女・地域を問わず集える地域コミュニティの形成

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
職員出前講座開催回数 (企画係)	実績値	28回	4回	18回	21回	41回		30回
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	住民の町政に対する理解と自治意識の向上、また、協働によるまちづくりの推進を目的として、職員が直接出向いて行う講座の実施						
	実施状況	- 令和6年度上半期 開催講座回数：23回 参加者数：936名 - 令和6年度下半期 開催講座回数：18回 参加者数：652名						
	効果・成果 結果の分析	小中学校や地域団体を中心にゴミの分別や防災、工作教室等の講座を41回開催し、合計1,588人の参加となった。						
	今後の取組	- 継続的な講座の開催 - 住民への周知方法の検討と講座内容の研究						
	備考							
伏見屋邸入館者数 (文化遺産活用係)	実績値	9,873人	5,404人	7,424人	8,217人	8,095人		15,000人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	施設の管理運営を受託するシルバー人材センターの会員が観光客等の来館者へのおもてなしを行うとともに、会員を中心とした「伏見屋邸サポート倶楽部」が、季節的イベントなどの自主事業を実施。						
	実施状況	- 季節的イベント（五月人形展、吊るし雛展、写真展、クラフト展等） - 来館者へのおもてなし						
	効果・成果 結果の分析	指標である入館者数は、周辺を散策する観光客の立ち寄りが主な利用であり、観光客の増減に左右されるところが大きい。イベントの開催など、地元の皆さんにも足を運んでもらう機会を作ることが必要であるが、今年度の取組では来館者の大幅な増加に繋げることができなかった。						
	今後の取組	国の登録有形文化財であることから、観光客等に気軽に立ち寄ってもらえる歴史的な建築物であることを前面に押し出したPRを行っていく。また、三角八丁などイベントにおける活用や、サポート倶楽部との連携による、地元の方にも来館してもらえる企画展示の開催などを検討していく。						
	備考							
下諏訪町高齢者クラブ補助金利用団体数 (高齢者係)	実績値	16団体	24団体	19団体	21団体	19団体		30団体
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	- 前年度補助金交付団体に対する個別通知による申請促進 - 事業周知のための班回覧及び町ホームページ掲載実施						
	実施状況	- 令和5年度補助団体数 21団体、会員合計360人 - 令和6年度補助団体数 19団体、会員合計314人						
	効果・成果 結果の分析	・昨年度の活動している団体のうち2団体が解散し団体数は減となった。会員の高齢化から会員数の減少が続いている。						
	今後の取組	- 上記の取組みの継続実施 - 団体相互の情報交換のため、交流会を開催し活動活性化を図る						
	備考							

【高齢者クラブ補助金】
町内の65歳以上の町民（会員）が10人以上で活動している以下①～③の要件を全て満たすクラブ・団体に補助金を交付
①活動目的を定め定期的な活動を実施
②年1回以上の地域貢献活動を実施
③町からの依頼事項への参加協力を応じていただける団体

◇施策（３）行政と住民が協働し、得意な分野を活かしたまちづくりの推進

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
地域の活力創生チャレンジ事業支援件数 (企画係) 【下諏訪力創造チャレンジ事業支援金】 町民等が自主的、主体的に行う個性とアイデアあふれる活力あるまちづくりを推進する事業に対して、一定の条件のもと支援金を交付する	実績値	6.4件	4件	3件	6件	5件		10件
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた主な取組	支援金制度の広報と随時の相談受付の実施						
	実施状況	事業実施数：新規事業3件、継続事業2件 計5件（申請数6件）						
	効果・成果結果の分析	支援期間（最大3年）終了後も各申請団体を中心に継続している事業（例：防災ネットワークしもすわ、夏休みこども研究所等）があることから、住民協働の推進及び地域コミュニティの強化に一定の効果を上げていると考えられる						
	今後の取組	・支援金制度の広報強化と随時の相談受付の実施 ・町内で行われる住民主体の公益的な取組の掘り起こしと、住民の相談等を事業申請へと繋げることによる支援件数増加の促進						
	備考							
各種委員会・審議会等における女性委員の割合 (企画係)	実績値	30.2%	26.3%	22.6%	24.8%	28.6%		40%
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた主な取組	性別による差別をされず、誰もが活躍できる社会実現のため、男女共同参画に関する委員会の開催と男女共同参画推進に向けた啓発パネル展やセミナーの実施						
	実施状況	各区推薦の男女1名ずつ等からなる推進委員会や役場職員からなる推進会議を通じての啓発や啓発パネル展やセミナーを通じての広く町民への啓発						
	効果・成果結果の分析	・女性委員の割合40%以上の委員会・審議会数：16件（53件中） 総務課：3 住民環境課：4 保健福祉課：3 産業振興課：0 建設水道課：1 教育こども課：5 消防課：0						
	今後の取組	・男女共同参画に対しての住民の関心を高める啓発イベントの開催 ・今年度『第7次男女共同参画計画』を策定する中での各区選出委員や審議会委員、パブリックコメント等の意見を踏まえての施策の研究						
	備考							

◇施策（４）空き家対策の推進による地域活性化

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
空き家情報バンクによる成約件数 (移住定住促進室)	実績値	10.2件	11件	10件	20件	23件		10件以上
	達成度		目標値以上	目標値以上	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた主な取組	・新設した移住ポータルサイト「くぐると下諏訪」内に空き家情報バンクを移行。より使い勝手のよい空き家物件情報を、移住に必要な町や人、補助金等の情報とともに一元的に提供することが可能となった。 ・空き家等家財道具処分補助金・空き家仲介補助金の積極的な周知						
	実施状況	・不動産業者との連携強化による物件登録の促進 ・移住希望者と登録物件のマッチングによる利用の促進 ・空き家バンク利用促進補助金（片付け等補助金・仲介補助金）の周知強化 ・町内各区への空き家相談会の実施						
	効果・成果結果の分析	・物件成約件数 売買成約件数 11件 賃貸成約件数 12件						
	今後の取組	・不動産所有者や地域おこし協力隊等との連携強化による物件登録の促進 ・貸したい人と借りたい人を円滑につなげるシステムの構築・空き家相談会・見学会の開催						
	備考	【空き家情報バンク】 空き家の売買又は賃貸を希望する所有者等から申込みを受けた情報を、町内への定住等を目的として、空き家の利用を希望する者に対し、情報を提供する						

◇施策（５）安心して快適に暮らすための事業推進

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
諏訪広域連合が処理する事務の数 (企画係)	実績値	15項目	15項目	15項目	15項目	14項目		15項目以上
	達成度		目標値以上	目標値以上	目標値以上	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・定期的な「正副広域連合長会議」「副市町村長会議」（広域事務局と６市町村所管課長等による会議を含む）等の開催による諏訪地域の広域的な課題への対応を含めた広域行政の推進						
	実施状況	・安定的な運営を目的とした介護保険事務や消防に関する事務を中心に、構成する諏訪６市町村全体に関わる広域的課題の調査研究も含めた14項目の事務を実施 ・これまで広域連合で処理する事務の一つであった小児夜間急病センターは、当初の目的に対して一定の役割を果たしたとの判断により令和５年度末をもって運営を終了						
	効果・成果 結果の分析	・共同処理を行うことにより効果的、効率的に事務事業が実施されるとともに、単独市町村で実施する場合と比較して安価で高い水準の行政サービスが提供できる						
	今後の取組	・スケールメリットを生かしたシステム導入及び共同化を進めるとともに、諏訪地域全体の魅力発信等に資する広域観光強化のための調査研究など、新たな広域的課題に対し協議する場を副市町村長会議に設置						
	備考							
グリーン購入法適合公用車割合 (管財係)	実績値	30.1%	38.3%	38.7%	40.3%	41.30%		42.3%
	達成度		努力が必要	努力が必要	順調	順調		
	KPI達成に向けた 主な取組	公用車を更新する際は、可能な限りグリーン購入法適合車両を選定する。						
	実施状況	令和６年度は、車両更新計画に基づき車両の更新を行った。６年度の更新により、グリーン購入法適合車が増加したため、割合の上昇につながった。						
	効果・成果 結果の分析	車両更新時は、可能な限りグリーン購入法適合車を選定しているため、割合の上昇につながった。 ※令和６年度：公用車計63台中、グリーン購入法適合車26台＝41.3%						
	今後の取組	今後も公用車を更新する際は、可能な限りグリーン購入法適合車両を選定していく。						
	備考							
人権教育研修会参加者数 (生涯学習係)	実績値	66人	47人	56人	59人	65人		70人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・心を動かす効果的で充実した内容により開催することで、人権に対する意識の普及と偏見、差別のない明るい社会の実現を目指す。						
	実施状況	・開催した人権教育研修会 テーマ：「子どもたちの今を知り、子どもたちの声に耳を傾ける」 講師：宮澤節子先生（NPO法人すわ子ども文化ステーション代表理事・長野県チャイルドライン推進協議会事務局長）						
	効果・成果 結果の分析	・参加者：65人 ・各種教育関係者や企業等の人権担当部署などへの案内通知発送や一般への周知により、多くの参加があり、身近にある人権への意識を高めていただけていると考えている						
	今後の取組	・関係各所との連携による心情に訴える研修会を地道に行い続けることで、他人を思いやり、命を大切にする社会の普及を図る						
	備考							

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
地域活動支援センター利用者数 (福祉係)	実績値	14人	11人	11人	9人	9人		15人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・養護学校高等部卒業生見込者に対する事業所紹介、通所体験の随時受付 ・諏訪地域にお住いの相談を受け付ける諏訪圏域障がい者総合支援センターや社会福祉協議会との連携						
	実施状況	・ひとり一人の障がいの特性を理解し、個々にあわせた作業や利用者間の交流を促すお楽しみ会、誕生日会、遠足などの実施						
	効果・成果 結果の分析	・ベテランの指導員が個々の特性を十分理解したうえで接しているため、利用する方々は長期に継続して通所、充実した生活を送っている。						
	今後の取組	・利用者に様々な交流の機会を提供し、居心地の良い環境に整えながら、多くの障がいのある方が通所できるようなセンターとして継続して運営していく。						
	備考	・障がいのある方の居場所づくりや家族負担の軽減を目的としているため、適切な運用を心がける						
生活困窮者の相談のうち専門機関との 連携対応の割合 (福祉係)	実績値	57.7%	59.8%	100%	100%	100%		60%
	達成度		順調	目標値以上	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・生活困窮の相談に対し、相談者の同意のもと専門機関と連絡を取り合う等相談者の生活における課題の解決に向けた連携と支援						
	実施状況	・生活の課題について、食糧支援、福祉的給付金の申請や病院受診といった対応をスムーズに取れるよう社会福祉協議会、自立支援機関、医療機関等との連携体制を構築し、現在福祉係単独で対応し、抱えているケースは無い状態となっている。						
	効果・成果 結果の分析	・相談の結果、生活保護を経由して現在の就労につながった方や、賃貸住宅への入居ができるようになった方など、一定の効果が見られる						
	今後の取組	・相談を受けた際には他機関に情報提供を行うことに同意いただき対応している。						
	備考	・相談者の増加に伴い、担当者以外に話を知られたくない方も増加するため、年度における相談件数と実績値が反比例する場合がある。適切な連携対応を心がける						
街なみ環境整備事業による 小公園整備箇所数 (事業着手以降の累計整備箇所数) (都市整備係)	実績値	3箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所		5箇所
	達成度		順調	順調	順調	順調		
	KPI達成に向けた 主な取組	・良好な景観の保全・整備 ・街なみ環境の保全・整備						
	実施状況	・目標の5箇所の内、4箇所整備済み（ポケットパーク、千尋池、高木津島公園、四ツ角湯けむりひろば） ・残りの1箇所については、グランドデザイン策定事業において官民連携し将来のまちづくりを議論検討する中で方向性を検討中						
	効果・成果 結果の分析	・地元住民による整備や維持管理も行われており、地域に根付いた公園となった ・公園の整備により、事業者からのキッチンカー出店要望への対応が可能となった ・イベント等においても利用され、地域の賑わいの一翼を担っている。						
	今後の取組	・残りの1箇所の整備に向けて、住民や事業者の方などから意見を聴取しながら良好な住環境の形成を図る						
	備考							

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
防災士在住地区数 (情報防災係)	実績値	66地区	65地区	65地区	65地区	65地区		80地区
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・防災士で組織する防災ネットワークしもすわの活動を支援するとともに活動の周知に努める ・防災ネットワークしもすわを通じた防災士資格取得希望者への補助を実施する						
	実施状況	・防災ネットワークしもすわ会報の全戸配布による防災士が行っている活動の周知 ・防災ネットワークしもすわと連携した防災ミニ講座の実施 ・自主防災会、消防団等を通じ、新たな防災士取得希望者の発掘						
	効果・成果 結果の分析	・防災ミニ講座や各種訓練を通じて、地域防災における課題の改善に取り組むことで、防災意識の向上が図られている						
	今後の取組	・防災ミニ講座の講師、各種訓練活動等を通じ、防災士の活動の周知を図る ・防災士資格取得希望者への補助の継続 ・防災士としての知識の再確認と最新情報の習得						
	備考	・高齢化等により、町内会によっては防災士の資格を取得して防災活動に意欲的に取り組んでいってもらえる人材を発掘することが困難な状況がうかがえる						
水防訓練参加者数 (建設管理係)	実績値	224人	実績値なし	140人	215人	216人		220人以上
	達成度		実績値なし	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・消防団、防災ネットワークしもすわ、赤十字奉仕団などの関係機関や区長会、 自主防災会などの地区団体への情報提供や連携強化を図る。 ・水防協議会を開催し、水防計画の見直しを図る。						
	実施状況	・各種関係機関、関係団体と水防訓練を実施した。 ・水防協議会を開催し、水防計画の見直しを行った。						
	効果・成果 結果の分析	・訓練への参加により、参加者は災害時の対応手順を事前に体験・確認でき、実際の災害への備えとしての意識や行動力の向上が確認された。こうしたことから、訓練参加は非常に重要な要素であるといえる。						
	今後の取組	・近年、近隣市町村で発生した災害事例を踏まえた訓練を企画、開催したい。 ・今後も有事に備え同様の取り組みをしていきたい。 ・事業の活動成果を上げるには、若い世代の参加が必要である。まずは、若い世代に防災の興味・関心を持っていただけるよう周知したい。						
	備考							
特殊詐欺等防止機器購入補助金利用件数 (補助金利用累積件数) (生活相談係)	実績値	0件	35件	48件	56件	67件		150件
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・特殊詐欺等の被害防止対策機器設置促進						
	実施状況	・特殊詐欺被害を未然に防ぐための対策機能がついた電話機や電話機に接続する 外付け機器を購入した方に対する補助（補助金額2／3、上限1万円）						
	効果・成果 結果の分析	・補助金利用件数：11件 補助金額：102,800円 うち高齢者のいる世帯数：7件 ・特殊詐欺被害認知件数（警察発表）：(令和6年)2件						
	今後の取組	・補助制度は3年間（令和2年度から4年度まで）の時限措置としていたが、町内における被害認知件数があるため、予算を実績程度に見直し、事業を引き続き実施 ・詐欺前兆電話の広報無線等による啓発の際に、メール本文に補助金制度内容を掲載し、引き続き周知を図る						
	備考							

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
町内交通事故件数 (建設管理係)	実績値	65件	44件	38件	32件	36件		55件以下
	達成度		目標値以上	目標値以上	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・関係機関と連携し交通安全運動期間を中心とした街頭啓発活動の実施。 ・区要望、通学路の合同点検、巡回パトロール等により、危険箇所を把握し、必要な箇所に対し整備を行っている。						
	実施状況	・年4回の交通安全運動の期間中に街頭啓発活動を実施した。 ・区や学校関係者の要望を踏まえ、通学路を中心に、危険性の高い箇所から交通安全施設の整備を行った。						
	効果・成果 結果の分析	・町内の交通事故件数は目標値を下回ったものの、残念ながら交通死亡事故が1件発生した。事故発生後には、関係機関と連携して交通死亡事故現地診断検討会を開催し、再発防止対策として、事故現場における交通安全施設の整備を実施した。						
	今後の取組	・啓発活動及び施設整備を継続し、関係機関、団体等と連携し街頭啓発活動を実施し、交通事故防止の推進を図り、事故件数の減少、死亡事故ゼロに努める。						
	備考							
消防団員数 (消防課庶務係)	実績値	231人	221人	217人	208人	208人		230人以上
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・団員募集協力依頼のための区長会と消防団幹部との懇談 ・消防団員募集強化月間を各分団の実情により実施						
	実施状況	・区長会との懇談は日程調整ができず中止 ・各分団計画により団員募集を実施						
	効果・成果 結果の分析	・令和6年度中に10人の新入団があったが、退団者が10人となった						
	今後の取組	・地域の集まりなど様々な機会をとらえて、引き続き根気よく募集活動を継続する						
	備考							
上水道管路の耐震化率 (上水道管理係)	実績値	14.6%	15.5%	16.1%	16.4%	16.9%		16.8%
	達成度		順調	順調	順調	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・アセットマネジメント及び水道ビジョンに基づく更新計画の策定 ・計画的な耐震管への布設替えの実施						
	実施状況	・耐震性を有する配水管による、町道町道湖浜3号線ほか2路線574.8mの配水管布設替え工事を実施						
	効果・成果 結果の分析	・耐震管への布設替えによる災害に強い上水道管路の構築						
	今後の取組	・将来を見据えた持続可能な上水道とするための、アセットマネジメントに基づく水道ビジョン、上水道経戦略後期計画による計画的かつ健全な事業運営の継続 ・限られた財源のなか、上記による計画的な施設整備、耐震管への布設替えの実施						
	備考							

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
下水道管路の耐震化率 (下水道温泉管理係)	実績値	21.9%	14.3%	15.9%	17.8%	20.4%		33.8%
	達成度		順調	順調	順調	順調		
	KPI達成に向けた 主な取組	重要度の高い幹線、緊急輸送路のマンホール浮上抑制対策及び管口の耐震化を実施						
	実施状況	県道岡谷下諏訪線等のマンホール浮上抑制対策及び管口の耐震化を実施 (実施延長1.1km)						
	効果・成果	下水道施設の機能確保及び緊急輸送路としての交通機能の確保						
	効果・成果 結果の分析	下水道総合地震対策計画を基に計画的に実施						
	備考	・令和3年度は地震対策路線の総延長を見直した(33.4km→42.1km)ことにより、 実績は減少となった(0.6km実施) ・総延長の見直しに伴い令和7年度の実績は23.3%を見込む						
都市計画道路の整備率 (整備済み区間及び事業化区間の延長/計画総延長) (都市整備係)	実績値	53.8%	56.2%	74.1%	74.6%	74.6%		58.0%
	達成度		順調	目標値以上	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・国道20号バイパス建設の促進 ・都市計画道路の整備促進 ・国道142号大社通りの整備推進						
	実施状況	・国道20号バイパスの整備(下諏訪岡谷バイパス)及び事業化(諏訪バイパス) ・都市計画道路赤砂東山田線事業化 ・国道142号大社通りの北側歩道整備(実施中)						
	効果・成果 結果の分析	・都市の将来像の骨格を形成する都市計画道路の整備を促進することで、市街地内の 通過交通による混雑回避、災害時及び緊急時の輸送等防災力や安全性の確保を図る						
	今後の取組	・引き続き都市計画道路の整備促進、早期完成に向けて国・県と連携を図る						
	備考							
赤砂崎公園多目的グラウンド利用者数 (都市整備係)	実績値	5,800人	5,214人	4,635人	4,285人	3,470人		5,800人以上
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・都市公園の保全整備 ・都市公園の更なる賑わい創出のため設置管理制度の活用						
	実施状況	・誰もが安全で安心して公園を利用できるよう維持管理を実施 ・設置管理制度を活用し、収益施設設置に向けて民間事業者と協定を締結						
	効果・成果 結果の分析	・良好な環境で利用できるよう定期的に草刈り、点検等を行うなど維持管理を図った ・設置管理制度に基づく協定締結により、今後都市公園の更なる賑わいの創出が期待される						
	今後の取組	・町民の憩いと潤いのオープンスペースを創出するため、更なる公園サービス向上を図る ・設置管理制度に基づく収益施設設置に向けて民間事業者と協議を行う						
	備考							

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
町内循環バスあざみ号利用者数 (生活相談係)	実績値	42,816人	35,621人	39,451人	42,806人	43,375人		49,000人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・町内循環バスの利用促進と効率的運行						
	実施状況	・地域に根ざした交通体系を維持し、高齢者や児童・生徒、交通弱者の移動手段の確保を図る						
	効果・成果 結果の分析	・令和3年4月にダイヤ改正を行い、スワンバスや電車との接続を考慮したほか、向陽高校からの要望により1便増便したことにより、高校生の利用が増加した						
	今後の取組	・地域公共交通計画に基づき、町内循環バスを含めた交通体系の整備と効果的運用のため、より一層効率的な運行を行い、利用者増加に向けて取り組む ・イオン諏訪店の新店舗建設にあわせてダイヤ改正を検討する						
	備考							
家庭から出る燃やすごみの量 (1日1人あたりの排出量) (環境衛生係)	実績値	474.7g	478.6g	473.1g	461.5g	459.1g		460.5g以下
	達成度		努力が必要	努力が必要	順調	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・ごみの排出抑制、減量化の推進と意識の醸成 ・分別の徹底による燃やすごみに含まれる資源物の再利用、再資源化の推進と意識の醸成						
	実施状況	・家庭ごみ減量化の推進と啓発 ・燃やすごみに含まれる資源物の再利用、再資源化の推進と啓発 ・プラスチック類の資源化を実施						
	効果・成果 結果の分析	・燃やすごみの1日1人あたりの排出量（原単位）は減少し、目標以上の減少になっている ・人口減少や物価高騰に伴う買い控えにより燃やすごみの量が減少していると推測される						
	今後の取組	・プラスチック分別収集開始により、燃やすごみの多くが生ごみに変わったとの話を聞くことから、さらなる燃やすごみの削減のため、生ごみリサイクル事業の周知、啓発を図る						
	備考							
移動販売利用者数 (生活相談係)	実績値	5,611人	5,128人	4,241人	4,148人	3,714人		6,000人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・商業施設から遠距離に居住する買い物弱者への支援						
	実施状況	・利用者の要望を踏まえた販売方法と内容の充実						
	効果・成果 結果の分析	・利用者への聞き取り調査では、多くの方から助かっているとの意見がある一部で、雨天時の屋根を希望することもあるなど改善の余地がある						
	今後の取組	・平成30年度の事業開始から7年が経過し、車体や冷蔵庫の修繕費用が増加していることから、イオン諏訪店の新店舗建設にあわせて事業の見直しを図る						
	備考							

◇施策（６）健康長寿のまちづくり

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
平均自立期間 (保健予防係・健康スポーツ係)	実績値	男性:81.0歳 女性:86.2歳	男性:80.3歳 女性:85.7歳	男性:81.1歳 女性:85.4歳	男性:78.4歳 女性:82.3歳	男性:81.0歳 女性:86.6歳		男性:81.0歳以上 女性:86.2歳以上
	達成度		努力が必要	順調	努力が必要	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・各種健（検）診の受診、町主催の各種講座等の受講、自主的な健康づくりの取り組みを促進するため、健康づくり応援ポイント事業の継続 ・各年代のニーズに応じた、健康づくりの動機付けとなる講座の開催						
	実施状況	・健康づくり応援ポイント事業は、「こまめに体重測定をしよう」を重点テーマとして実施 ・健康スポーツゾーン、健康運動施設等を活用した各種運動講座の開催 ・健康運動施設の新規利用者の獲得、利用促進を目的とした各種イベントの開催						
	効果・成果 結果の分析	・健康づくり応援ポイント 参加者：1,340人（累計11,214人） ・健康ステーション 利用登録者：392人（累計2,048人）／利用者数：18,017人 ・健康運動講座 延開催回数：325回／参加者数：3,409人						
	今後の取組	・健康づくり応援ポイント事業を核として、引き続き平均自立期間の延伸に向けた取り組みを推進 ・住民が自主的に取り組むことができる、健康づくりに関する情報の発信 ・健康運動施設の利用促進とともに、健康サポーターと連携した各種運動講座の企画、開催						
	備考							
健康スポーツゾーンを活用した 講座開催回数及び参加者数 (健康スポーツ係)	実績値	12回 145.2人	12回 92人	12回 89人	12回 100人	12回 91人		12回 160人
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・健康スポーツゾーンを活用した各種講座の開催 ・各人の健康課題に寄り添った、オリジナル運動プログラムの提供と支援 ・健康運動施設利用者への講座参加の勧奨						
	実施状況	・講座実施回数：12回（春コース6回、秋コース6回） ・熟年体育大学リサーチセンターによる指導、町健康サポーターによる講座の補助						
	効果・成果 結果の分析	・講座の構成を週1回、連続6回の開催とすることで、定期的な運動の実践の重要性について教示することができた ・講座開催日以外でも、諏訪湖畔で自主的かつ定期的に運動する受講者の姿がみられた ・当講座への参加が動機付けとなり、運動の習慣化につなげることができた						
	今後の取組	・講座終了者に対する月1回のフォロー講座によるサポートの継続 ・町民ニーズの把握と、講座の具体的な目標設定による新たな受講者の獲得 ・健康スポーツゾーンの活用を基盤とした、新たなプログラムの検討						
	備考							
国保特定健康診査受診率 (国保年金係)	実績値	44.2%	39.4%	44.6%	44.3%	43.0%		60%
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	KPI達成に向けた 主な取組	・特定健診未受診者対策の実施（受診対象者2,892人）						
	実施状況	・個別健診を6月～12月まで町内8か所の医療機関で実施 ・集団検診を保健センターにて12回実施						
	効果・成果 結果の分析	・集団検診 674人 ・人間ドック受診結果提供 112人 ・個別健診 443人 ・本人からの健診データ提供 15人（受診者数 計1,244人） ・A1を活用した受診勧奨通知の送付により未受診者の意識改善に一定の効果は出ているものの、健康意識の高い高齢者が後期高齢者医療に移行しているため、受診率が伸び悩んでいる。未受診者対策事業を通じて、更なる未受診者の意識改善の推進を図る必要がある。						
	今後の取組	・集団健診に歯科健診日を追加（令和6年度より実施） ・医療機関からのデータ受領の充実（みなし健診の検討） ・未受診者対策の実施（A1を活用した受診勧奨通知の送付）						
	備考							

指標名		R元年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度 (目標値)
認知症サポーター養成講座受講者数 (高齢者係) 【認知症サポーター養成講座】 認知症にやさしい地域づくりを進めていくため、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成する講座	実績値	2,624人	2,792人	2,859人	3,006人	3,147人		3,000人
	達成度		順調	順調	目標値以上	目標値以上		
	KPI達成に向けた 主な取組	・町内会や地区のサロンに認知症サポーターの講師役であるキャラバンメイトを派遣することによる認知症に対する正しい理解の普及啓発活動 ・役場職員を対象とした認知症サポーター養成講座の開催						
	実施状況	・令和5年度10回開催、受講者152人 ・令和6年度7回開催、受講者141人						
	効果・成果 結果の分析	・認知症に対する正しい知識を会得することで適切な対応を取ることができる						
	今後の取組	・地域にお住まいの方のほか、職域の従業員等を対象とした養成講座の開催を実施するなど対象範囲の拡大を図る						
	備考							